アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.109/2016 年 2 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第109号をお届けします。

【1】2016年1月のAP研の開催報告

今年最初となる1月のAP研は14(木)・15(金)に拓殖大学にて開催されました。本研究会では、現地世話人である拓殖大学・前山利幸先生によるオーガナイズにより、今回で3回目となる企業特集セッションが行われました。14件の発表と活発な議論が行われました。また、構造計画研究所の吉敷由起子様によるチュートリアル講演「レイトレース法の適用範囲と応用」をご講演頂きました。電波伝搬分野では、レイトレース法が重要なツールとして使用されていますが、その上で注意すべき点やノウハウなどが紹介されました。

吉敷由起子様

拓殖大学には、産官学連携活動の一環としてアンテナ測定のためのテストラボがあります。このテストラボの見学会が、昼休みの時間帯を利用して研究会開催両日行われました。様々なアンテナや無線通信システムを測定・評価できる多くの設備・装置があり圧倒される思いでした。見学会の準備にご尽力頂きました、マイクロウエーブファクトリー株式会社および拓殖大学の関係者の皆様に感謝します。

拓殖大学テストラボの見学会

【2】2015年12月のAMT研の開催報告

12/18(金)にAP研の第二種研究会 無線設備・アンテナシステム測定技術研究会(AMT研)が沖縄県宮古島マリンターミナルで開催されました。また、その前日の17(木)にAMT研主催のチュートリアルワークショップ(第11回)が行われました。今回のチュートリアルワークショップでは、宮古島メガソーラー実証研究設備見学会が開催されました。見学会開催にご尽力いただきました関係各位に感謝致します。

宮古島メガソーラー実証研究設備見学会

【3】2016年総合大会のご案内

今年春の総合大会は、3/12(火)～15(金)に、九州大学(伊都キャンパス)にて開催されます。AP研関連セッションには多くのご投稿を頂き合計260件の発表があります。4日間通して最大4パラレルでプログラムが構成されています。今回の総合大会では以下のシンポジウムが企画されています。ふるってご参加ください。

(1) 人体周辺における無線システムを実現するアンテナ・伝搬技術

オーガナイザ：高橋応明(千葉大)、本田和博(富山大)、渡辺聡一(NICT)

(2) 最新のマルチスケール/マルチモデルシミュレーション技術

オーガナイザ：福迫武(熊本大)、有馬卓司(農工大)、平野拓一(東工大)、佐藤亮一(新潟大)

【4】今後のAP研開催案内

2016年3月のAP研は、10(木)・11(金)に、山梨県石和温泉の「かんぽの宿・石和」にて開催します。NTT村上友規様によるチュートリアル講演が行われます。プログラムの詳細はAP研のホームページをご参照下さい。4月AP研は、21(木)・22(金)に、愛知県の中部大学工学部にて開催します。現地世話人の中部大学の常川光一先生によるチュートリアル講演と研究室見学会が予定されています。5月のAP研は、19(木)・20(金)に、兵庫県の神戸大学工学部にて開催致します。それぞれふるってご参加下さい。

AP研の発表申込締切は通常開催2か月前の10日になっています(5月AP研は3/10締切)。また、先月のAP研からのお知らせに2016年度の研究会開催予定を掲載致しておりますので、あわせてご参照下さい。

【5】技報電子化・研究会参加有料化トライアルへのAP研の参加　－重要連絡です!!－

学会からのお知らせなどで既にご存じの方もおられると思いますが、通ソでは技報の完全電子化を想定した新しい研究会運営のトライアルが実施されます。AP研はこのトライアルに参加することになりました。

早ければ2年後にも技報の完全電子化(冊子体廃止)と研究会参加の有料化が予定されています。今回のトライアルは、制度の課題抽出やよりよい制度の構築を目的として実施されるものです。AP研では、新しい制度にスムースに移行できるように、また、AP研に参加しやすい環境を整備するために、このトライアルへの参加を決めました。トライアルの概要は次のとおりです。4月研究会から実施致します。

- ○ 研究会会場における技報(冊子体)の販売・配布がなくなります。
- ○ 技報年間購読者および下記の年間登録者以外は研究会への参加が有料となります。参加料は3,000円または5,000円です(開催日数により異なる)。当日参加申込の場合は+1,000円となります。
- ○ 研究会年間登録制度が導入されます。年間登録者はその年度の研究会参加と技報電子ファイルのダウンロードが可能です(冊子体は無し)。AP研の年間登録料は、会員6,000円・非会員9,000円です。
- ○ トライアル期間中は従来の技報年間予約制度も存続します。
- ○ 発表者の方は、投稿時に、従来の別刷り購入、または、別刷りの無い掲載料支払、のどちらかを選択して頂きます。掲載料は1件あたり3,000円です。発表者は発表する研究会の参加料は不要です。
- ○ 学生員(学生の学会会員)は、参加料、年間登録料、共に無料です。ただし、発表する場合は学生員も掲載料の支払いが必要です。

AP研では、できるだけスムースに実施できるよう最善の準備を致しますが、トライアル開始当初は多少の混乱も予想されます。皆様にはご不便をおかけすることもあろうかと思います。皆様のご理解・ご協力をお願い致します。なお、トライアルの詳細については、下記URLの研専運営会議のホームページをご覧下さい。

http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html

【6】副委員長の戯言

自分のことで恐縮ですが、現在通ソ英文論文誌(EB)の編集委員長を拝命しています。年末からお正月にかけては論文賞選定の時期でした。自慢する訳ではありませんが(←実は自慢です)、選定委員はかなりの回数担当させて頂きました。EBの論文賞選定では分野を問わず10本以上もの論文をしっかりと読み込むことが求められ大変な作業です。ここ数年はお正月ももちを食べながら論文とにらめっこしてました。賞の選定でよく思うことは、たとえば論文賞については論文自体の素晴らしさが大前提ですが、自分以外にも多くのサポートしてくれる人がいて初めて受賞につながるものだと感じます。指導者の先生はもちろん、論文の良さを見出して選定の俎上にのせる(=推薦する)読者や編集者、さらにはそれを選定の場で的確にアピールしてくれる選定委員、もっとさらには、そのような賞のシステムを整備して下さってる事務局や学会、などの貢献が不可欠です。これは論文賞のみならず、本部の学術奨励賞やAP研の若手・学生奨励賞など、多くの賞についても言えると思います。特に若い受賞者の方には、その賞の背景におられる自分をサポートして下さっている先輩への感謝の気持ちを大事にして、その先の活動につなげて頂きたいと思います。また、そのようなサポータを増やすためにも、研究会や大会における発表などを通じて、自分の研究を理解してもらえるようなアクティビティも重要だと感じます。

最後にEBの宣伝をさせて頂きます! EBでは、新しいアイデアや世界最高性能の実現など、関連分野へのインパクトがある論文(=「とんがった論文」)の掲載を目的とした新しい論文カテゴリー「ポジションペーパ(Position Paper)」の受付を昨年10月から開始しています。詳しくはEBの投稿のしおり、または、会誌や通ソマガジン(34号)などにも案内の記事を掲載しておりますのでご参照下さい。投稿よろしくお願い致します!!

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　岩井誠人(同志社大)
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives：http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/